

令和7年産麦類（子実用）の作付面積及び収穫量 （六条大麦・小麦）

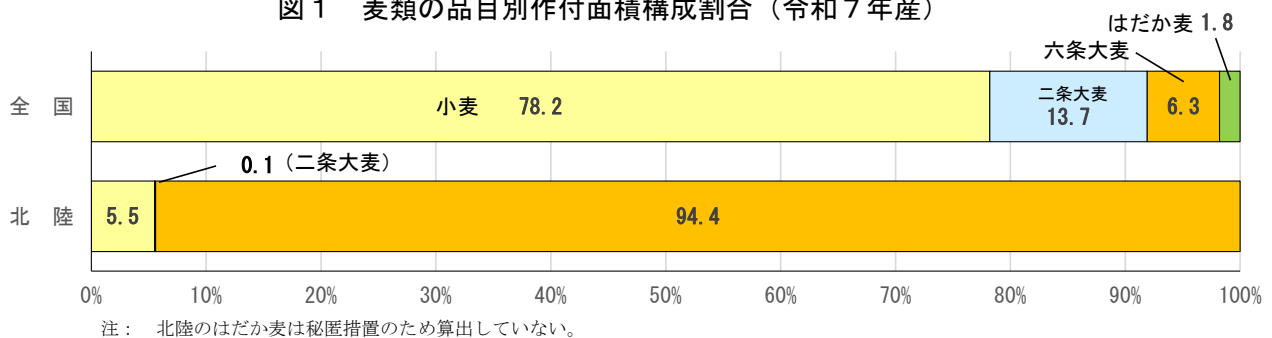
令和7年11月28日公表
（令和8年3月31日確報）

北陸における令和7年産麦類の収穫量は、六条大麦、小麦とも前年産に比べ増加

北陸における麦類の品目別作付面積について

北陸における麦類の品目（小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦）別の構成割合は、六条大麦が全体の94.4%を占め、続いて小麦が5.5%となっており、全国の構成割合に比べ、六条大麦の作付けが主体となっている。（図1参照）

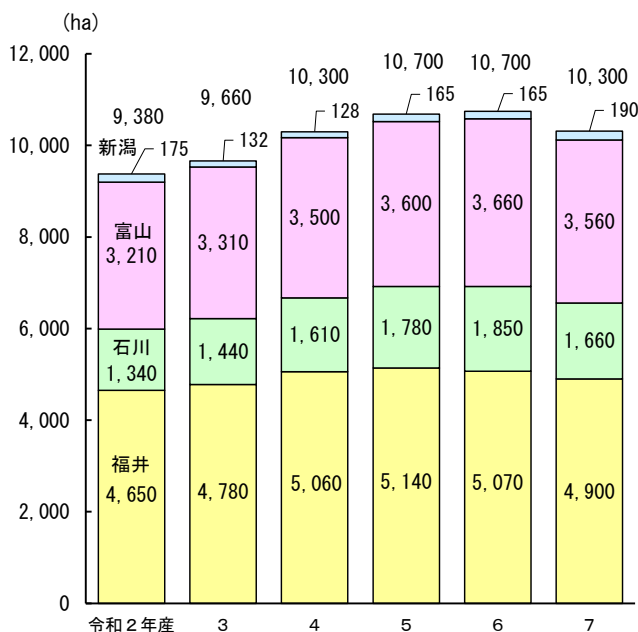
図1 麦類の品目別作付面積構成割合（令和7年産）



北陸における六条大麦の作付面積及び収穫量

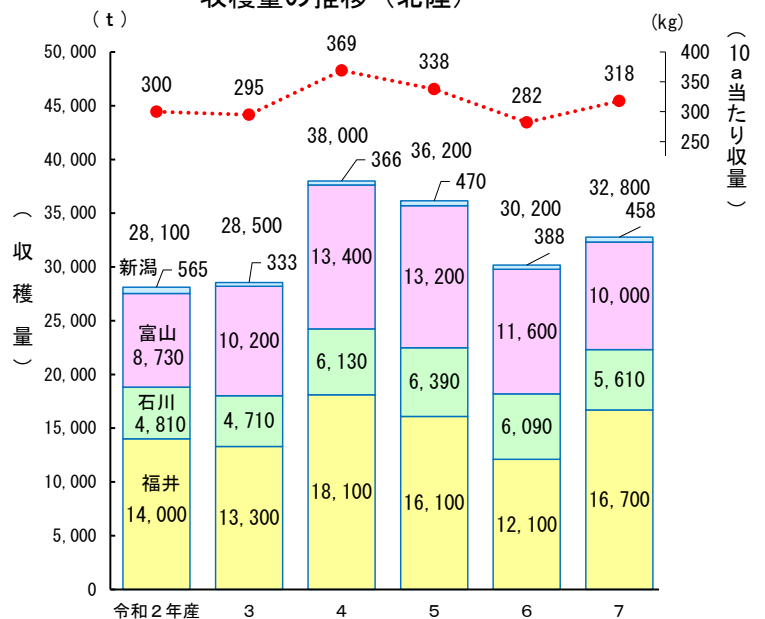
北陸における六条大麦の作付面積は1万300haで、前年産に比べ400ha（4%）減少した。10a当たり収量は318kgで、前年産を36kg（13%）上回った。これは、主に福井県において、おおむね天候に恵まれ、生育が順調に推移したためである。収穫量は3万2,800tで、前年産に比べ2,600t（9%）増加した。（図2、3参照）

図2 六条大麦の作付面積の推移（北陸）



注：統計数値は桁数により四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下、図5まで同じ）。

図3 六条大麦の10a当たり収量及び収穫量の推移（北陸）



北陸の六条大麦は作付面積が全国の55%を、収穫量は56%を占めており、都道府県別の順位をみると、作付面積、収穫量とも福井県が1位、富山県が2位となっている。（表参照）

表 六条大麦の作付面積及び収穫量の上位5都道府県及び北陸各県の順位（令和7年産）

順位	都道府県	作付面積 ha	全国に占める割合 %	順位	都道府県	収穫量 t	全国に占める割合 %
	全 国	18,600	100.0		全 国	59,000	100.0
1	福 井	4,900	26.3	1	福 井	16,700	28.3
2	富 山	3,560	19.1	2	富 山	10,000	16.9
3	石 川	1,660	8.9	3	滋 賀	6,200	10.5
4	栃 木	1,610	8.7	4	石 川	5,610	9.5
5	滋 賀	1,470	7.9	5	宮 城	4,990	8.5
12	新 潟	190	1.0	13	新 潟	458	0.8

注： 順位は秘匿措置を講じている都道府県を除いたもの。

北陸における小麦の作付面積及び収穫量

北陸における小麦の作付面積は599haで、前年産に比べ8ha（1%）減少した。10a当たり収量は274kgで前年産を14kg（5%）上回った。収穫量は1,640tで、前年産に比べ60t（4%）増加した。

小麦の10a当たり収量及び収穫量は、令和2年産以降、5年連続増加している。

（図4、5参照）

図4 小麦の作付面積の推移（北陸）

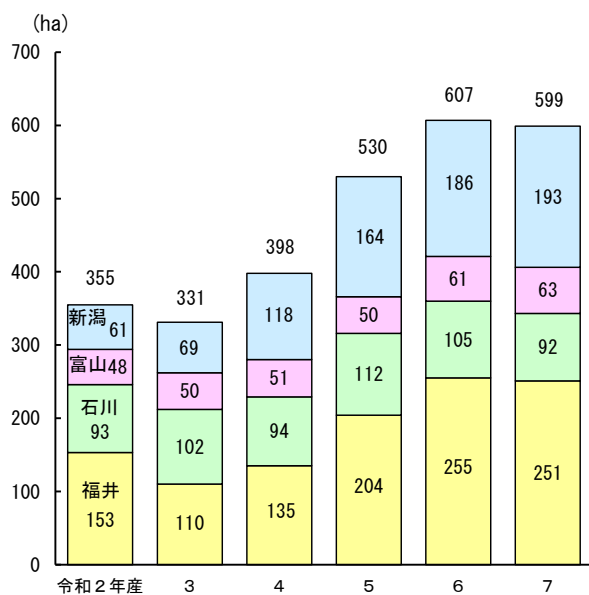
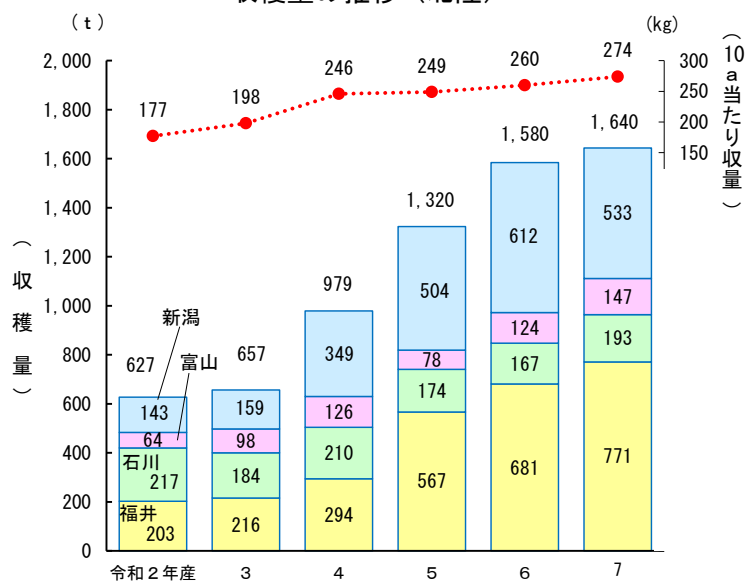


図5 小麦の10a当たり収量及び収穫量の推移（北陸）



【問合せ先】

北陸農政局 統計部 生産流通消費統計課
（直通） 076-232-4895